



# 学校だより

## 12月

令和5年11月30日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>

## 実りの秋

校長 大島 恵子

「暑い暑い」と言い続けたこの夏の記憶もようやく薄らぎ、過ごしやすく爽やかな気候のもと子どもたちは毎日元気に過ごしています。秋を探しに公園に出かけたり、畑で野菜を収穫したりと秋を楽しんでいるうちに少しずつ冬が近づいてきたようです。技術員さんと子どもたちが作るリースやツリーが職員玄関や昇降口に飾られ学校内に冬のムードが高まってきました。気付けば明日から師走、12月になります。

芹が谷南小学校では10月、11月に学校行事が続きました。1,2年生は新江の島水族館への遠足。3年生は舞岡公園への校外学習。4年生は区音楽会への参加。5年生は社会科見学や芹が谷小学校とのスポーツ交流会。6年生は久良岐能舞台での狂言教室とこころの劇場鑑賞。各学年の活動の様子については学校Webページや学校、学年だよりでお伝えしましたとおり、教室だけでは体験できない貴重な学びを重ねてきました。学校行事は特別活動の一つとして位置づけられており、育成を目指す資質・能力としては自分のよさや可能性を発揮して、協働して活動する力や自分の役割を果たして、協力し合って取り組もうとする態度などが挙げられます。

「学校で学ぶ意義」というと壮大なテーマになってしまいましたが、私は「友達と一緒に過ごすことで互いに認め合うこと」が学校で学ぶ目的の一つに挙げられると思います。日々教室で私たちは互いに認め合うことの大切さを子どもたちに伝えていきます。ただ、普段の生活だけでは見えなかった友達のよさや頑張りに「芹南ピック」や「スポーツ交流会」「音楽会」のように時間をかけて準備、練習を続ける中で気付けた子も大勢いたでしょう。いつもと違う環境の中で学ぶ校外学習は、友達の新たな面に気付くチャンスもたくさんあるはずです。また、自分の役割を意識し、その役割を果たしたことで満足感を味わったり協力するよさを感じたりした子もいたでしょう。こうした学校行事を通して気付いたことや学んだことをふり返り、価値付けていくことで子どもたちは自己有用感を高めることができるのだと思います。こう考えると学校行事が学校生活に果たす役割は、とても大きなものになります。日々の積み重ねを大切に、子どもたちがさらに成長する機会となる学校行事を「学校で学ぶ意義」とつなげ、子どもたちと創っていきたいと思います。



個別支援学級の子どもたちが育てたコスモスの花を押し花にして すてきなしおりができました。

子どもたちが4月から日々積み上げてきたことが大きく実り、学校行事の中で輝く場面となって表れた実りの秋でした。12月16日は「芹南ふれあいDay」を行います。日々の学びを大きな実りとして発表できるよう、各クラス準備を進めているところです。多くの皆様のご参観をお待ちしております。